

# THE RECORD 11

1998  
No.468

- レコードファン感謝祭廃盤特別謝恩セール開催
- 第5回日本プロ録音賞ノミネート作品決定
- コンピュータ西暦2000年問題
- 統計資料—CDのジャンル別新譜数の推移

**RIA**  
Recording Industry Association of Japan

## イベント・その他

### レコードファン感謝祭「廃盤特別謝恩セール」開催

10月17日（土）、18日（日）の2日間にわたり、当協会加盟26社主催、当協会、日本レコード商業組合、全国レコード卸同業会協賛、社団法人日本オーディオ協会協力による「レコードファン感謝祭'98、廃盤特別謝恩セール」が、会場を東京タワーボーリングセンターから東京都江東区の東京ビッグサイト西1ホールに移し、開催されました。

このセールは、レコードファンへの感謝の意味を込めて、今年1年間に廃盤となったCD、レコード、ビデオカセット、ビデオディスク等を一堂に出品、70%の割引で販売するもので、平成4年度より毎年開催されており、今年で7回目となりました。

今回の出品タイトル数は約6,500タイトル、出品数は約26万枚でした。また、輸入盤と発売後2年を経過した時限再販切商品の特別コーナーも設置されました。

両日とも台風の影響をうけた悪天候の中、熱心なファンが開場前から会場に集まるなど、多くのレコードファンが来場されました。入場者数は、初日5,532人、2日目が3,401人の合計8,933人でした。売り上げは、初日が4万361枚/3,108万6千円、2日目が1万1,804枚/884万4千円、の合計5万2,165枚/3,993万円でした。

最後になりましたが、廃盤セール委員の皆様をはじめ、メーカー各社からの応援スタッフの皆様、お忙しい中、今年も2日間ありがとうございました。

### CD-R/CD-RWの政令指定

現在、私的録音補償金の対象は、MD、DAT、DCCの3種類ですが、10月13日の閣議決定により、新たにオーディオ録音用CD-RとCD-RWが著作権施行令（政令）によって対象機器・記録媒体として指定され、11月1日から発効することになりました。

このことにより、CD-RとCD-RWの機器及び記録媒体の私的録音補償金がSARAH（私的録音補償金管理協会）に支払われることとなります。

今年5月上旬、日本でもCD-R機器が発売されましたが、その時点はまだ私的録音補償金の対象として指定されていませんでした。

### カラオケ対策委員会報告

カラオケ対策委員会では、「不法録音」を無くすために、著作権思想の普及と啓蒙を目的にさまざまな広報活動を展開してきましたが、前号でも一部お伝えしましたとおり、98年度における広報活動の一環として、カラオケ教室の主宰者・講師を無料ご招待して、「歌・想い…そして出逢い」のタイトルの下、金沢（10/26）、大阪（10/27）、熊本（10/29）、名古屋（10/30）で啓蒙キャンペーン・ツアーを実施しました。

また、昨年11月に福岡・広島で地元のマスコミ、教室の主宰者・講師を招いて開催した“マスコミ懇談会「みんなでなくそう不法ダビング IN 開催地」”を、本年は北海道・東北にて下記（日程と会場のみ決定）により実施します。

記

11月11日（水）札幌 札幌グランドホテル

11月12日（木）仙台 仙台ホテル

### まなびピア兵庫'98開催

去る9月30日から10月4日の5日間、神戸ポート・アイランドの「神戸国際展示場」で第10回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア兵庫'98」が開催されました。

この行事には、当協会も会員となっている「不正商品対策協議会」が展示コーナーを設け、著作権・商標権等の知的所有権思想の尊重と、これらの権利を侵害する不正商品・にせものの不買を訴え、いろいろなイベントを行いました。

またこのまなびピアは毎年行われていますが、同協議会は第1回目から欠かさず出展しているため、この行事の主催者である文部省から、その協力に対し感謝状が贈られました。

### 当協会新年会のお知らせ

平成11年のレコード協会新年会は、1月6日（水）午後4時からキャピトル東急ホテル「真珠の間」にて行われます。

# プロ録音賞

## 第5回日本プロ音楽録音賞ノミネート作品決定

今年で第5回を迎える日本音楽プロ録音賞の授賞式は、音の日(12月6日)が日曜になる関係で12月4日(金)虎ノ門・パストラルで行われます。

今年からは(社)日本音楽スタジオ協会、(社)日本レコード協会、(社)日本オーディオ協会、日本放送協会の主催、日本民間放送連盟の協賛のほかに、通産省、文化庁、(株)音楽出版社のご後援(一部申請中)をいただき、賞の認知度もあがってきています。

また、今回の授賞から候補5作品を各部門からノミネートし、当日優秀作品を発表することとなりました。ノミネート作品を決定する予備審査は9月28日(部門1および2)、10月2日(部門3)に行われ次のように決定しました。

### 部門1：ジャズ・クラシック(応募数13点)

○アルバム「MICHIEバラ色の人生」より  
〈中田喜直：霧と話した〉  
エンジニア：池田 彰 (東芝EMI) 他  
中丸三千繪 (ソプラノ)  
スチュアート・ハッチンソン (指揮)  
フィルハーモニア管弦楽団  
東芝EMI TOCE-9594

○アルバム「ヴィヴァルディ 〈四季〉」より  
〈「夏」 第3楽章〉  
エンジニア：内藤哲也(ソニー・ミュージックエンタテインメント)  
大谷康子(バイオリン)、秋山和慶(指揮)  
東京交響楽団弦楽合奏団

ソニーミュージック SRCR-1986  
○アルバム「竹竹：エイジアン・ルーツ」より  
〈オーシャンモーション〉  
エンジニア：塩沢利安(日本コロムビア) 他  
ジョン海山ネプチューン(尺八)  
他オールバンパー・バンド

日本コロムビア COCY-80766  
○アルバム「クリヤ・マコト/アンチテーゼ」より  
〈MAKKA-NASCARF〉  
エンジニア：辻 裕行(キングレコード) 他  
クリヤ・マコト(ピアノ)、納 浩一(ベース)、  
大坂昌彦・岸田容男(ドラムス)

キング KICJ-350  
○アルバム「RAYEARTH」より〈フェリオと風〉  
エンジニア：北川照明(ポリグラム) 他  
音楽：佐藤俊彦  
演奏：レイアースグランド・オーケストラ  
ポリグラムPOCX-1077

### 部門2：ポップス・ロック(応募数25点)

○アルバム「コージー」より〈LAI-LA-邂逅〉  
エンジニア：原田光晴(ミキサーズ・ラボ)  
山下達郎

ワーナー WPCV-7450  
○アルバム「SPECIAL」より  
〈Joyful Joyful〉  
エンジニア：三浦瑞生(ミキサーズ・ラボ) 他

尾崎亜美

東芝EMI TOCT-9997  
○アルバム「FRIENDS～時空を越えて」より  
〈FRIENDS～時空を越えて〉  
エンジニア：秋元秀之  
(ビクターエンタテインメント) 他  
飯島真理&桜井 智

ビクター VIDL-30095  
○アルバム「SIAM SHADE・Zero」より  
〈Virtuous〉  
エンジニア：内田孝弘(ビクターエンタテインメント) 他  
SIAM SHADE

ソニー SRCL-4166  
○アルバム「PARADISE」より  
〈PARADISE〉  
エンジニア：林 憲一(ビクターエンタテインメント) 他  
サザンオールスターズ

ビクター VIDL-30237  
部門3：放送およびオーディオ・ビジュアルパッケージ(応募数：放送部門のみ24点)

○放送番組「青春のポップス」より〈ローズガーデン〉  
エンジニア：高橋清孝  
(NHK制作技術センター音声) 他  
西田ひかる他

NHKテレビ1998年8月2日放映  
○放送番組「The Super Concert」より  
〈スターダスト〉他  
エンジニア：深田晃

(NHK制作技術センター音声) 他  
ナタリー・コール他  
NHKハイビジョン1997年10月8日放映  
○放送番組「ベスト・オブ・クラシック」より

〈モーツァルト：交響曲第39番〉  
エンジニア：新村 亨(NHK報道技術センター) 他  
アンドレ・プレヴィン指揮NHK交響楽団  
NHKFM1998年5月9日放送

○放送番組「芸術劇場」より  
〈團 伊玖磨：オペラ 建TAKERU〉  
エンジニア：平野 亨(NHK制作技術センター音声) 他  
星出 豊指揮 東京交響楽団  
佐藤しのぶ(ソプラノ) 他  
NHKテレビおよびハイビジョン

1997年12月31日放映  
○放送番組「ザ・シンフォニーホール・アワー」より  
〈Noon Flight〉

エンジニア：乾正(朝日放送) 他  
ゴンチチ(ギター)  
朝日放送1997年10月19日放映  
(以上順不同)

12月4日の授賞式にはノミネート作品に関わるエンジニアはもとより多くの録音エンジニアにご参加いただき交流の場として積極にご活用いただきますようお願いいたします。

# コンピュータ西暦2000年問題

コンピュータ西暦2000年問題とは、一部のコンピュータ・プログラムが西暦データを下2桁で管理しているため、2000年と1900年を誤認してコンピュータが混乱する問題です。

この問題への対応の重要性・緊急性を踏まえ、「高度情報通信社会推進本部」作成の行動計画を掲載させて頂きましたので、参考にして頂きたいと思えます。

## コンピュータ西暦2000年問題

### 1. コンピュータ西暦2000年問題

- 従来のコンピュータが、西暦を下2桁でしか認識しない様式であったため、2000年以降のデータを処理する場合にシステムがストップしたり、混乱したりする問題。
- システムを保有する者は、プログラム・データの修正、システムの再構築等の対応が必要。

### 2. 問題の背景

- コンピュータでは、西暦年を下2桁で表記することが通例であった。
- システムが更新された場合でも、コンピュータシステムにおける既存データの互換性確保の観点から、2000年問題を有するプログラムが継続使用された。
- コンピュータでは西暦年を下2桁表記してきた。
  - (1) 1960～1980年代のコンピュータの導入、普及時期においては、大量のデータを保存・処理することは技術的に困難であり、非常に高価なメモリやハードディスク容量の大幅な拡張なしには不可能であった。
  - (2) コンピュータ産業が育成されてきた欧米で、西暦年の下2桁表記が慣例であった。
  - (3) また、主に事務処理用コンピュータのプログラムに用いられているコンピュータ言語であるCOBOLのISO規格は、かつてコンピュータのハードウェアからプログラムへの西暦年データを受け渡すときに西暦年を下2桁で処理することが規格化されていた。

〈参考〉COBOL言語規格の経緯

- 1968年ANSI(米国規格協会)で「2桁年数処理」が規格化
- 1972年ISO(国際標準化機構)で「2桁年数処理」が規格化
- 1989年ANSI、ISOで「4桁年数処理」もオプションとして並記
- 1992年1992年のISO改正版の出版を受けて、JIS改正

### 3. 具体的事例

#### ◎基本的障害

- 日付が設定できない  
1999年に、1年後に必要な部品を発注した場合、その部品の納入処理が行われない。
- 期間計算がおかしくなる  
・年数の計算／・閏年の計算  
西暦年下2桁では、2000年を閏年と判定できない。
- 必要なデータが抽出されない
- 必要なデータが消去される  
部品在庫管理データファイルからデータが消去される
- 日付順にデータが正しく並ばない  
1900年代と2000年代が混在するデータを日付順に分類すると前後関係がおかしくなる。
- 和暦表示がおかしい  
「00」年を1900年と判断し、明治33年と表示。

## コンピュータ西暦2000年問題に関する行動計画(抜粋)

上記で見てきたコンピュータ西暦2000年問題(以下「2000年問題」という。)は、21世紀における高度情報通信社会の構築に向けた信任を揺るがしかねない重大な問題である。

2000年まで残された日数が500日を切った今日、官民ともになすべき作業を更に進め、早め早めの対応により、万全を期す必要がある。

高度情報通信社会推進本部(以下「推進本部」という。)は、本問題の重要性、緊急性にかんがみ、ここに、2000年問題に関する行動計画を策定し、官民を挙げた具体的な行動の徹底を図ることとする。

さらに、本問題は、世界各国共通の課題であるとともに、相互に重大な影響を及ぼし得る問題であることから、国際的連携を促進することとする。

#### ◎2000年問題への対応についての周知徹底

1. 推進本部は、地方公共団体及び民間部門とともに、2000年問題への対応が遅れたり、不十分だった場合には自らやネットワーク全体に大きな影響や負担を及ぼしかねないことを含め、2000年問題への問題意識を広く喚起し、2000年において生じ得る問題を最小限に抑え、2000年への円滑な移行を実現するものとする。

このため、政府広報等を活用するとともに、新聞、雑誌等のマスメディアに対して2000年問題に関する情報の掲載に協力を求めることなどにより、2000年問題への対応策、対応状況等に関する情報を広く提供するなど、官民を挙げて、2000年問題への対応を周知徹底する。

2. 周知徹底に当たっては、一般的な注意喚起に止まらず、以下の点を確実に実施することが2000年問題に対する適切な対応であることを広く徹底することとする。

- (1)組織としての責任体制を明らかにし、トップダウンの手法により、組織全体として対応を行う。
- (2)模擬テストの実施を含めた総点検を行い、コンピュータ・システムが全体として問題なく機能するかどうかを確認するとともに、危機管理計画を策定し、システム停止、誤作動など不測の事態に適切に備える。
- (3)コンピュータ、ソフトウェアのみならず、マイクロ・コンピュータ搭載機器についても確認するとともに、ネットワークによって結ばれた相手の対応が確実に行われていることを確認する。
- (4)コンピュータ、ソフトウェア及びマイクロ・コンピュータ搭載機器について、その製造業者・販売業者等に問い合わせることにより、当該製品又はシステムが2000年問題に対応しているかどうかについて確認する。
- (5)自らの対応状況等の情報について自主的に提供する。

次に、「民間企業コンピュータ西暦2000年問題総点検事項」が公表されておりますので、掲載しておきます。

本総点検事項は、コンピュータ西暦2000年問題について、民間企業が保有するコンピュータ、ソフトウェア及びマイクロ・コンピュータ搭載機器（以下「コンピュータ・システム等」という。）のトラブル及びトラブルによる事業活動への影響を回避し、その活動に支障を生じさせないよう、民間企業が対策をとる場合の参考となるものである。

1. 役員等における基本認識の形成、関与及び取組体制

- (1)役員を含め、2000年問題に対する基本的な理解（問題の背景、影響の範囲、基本的な対応策等）があるか。
- (2)役員が2000年問題を経営問題として位置付けているか。

・中長期計画、短期業務計画等において、2000年

問題が考慮されているか。

(3)役員が2000年問題への対応策の策定及び実施に積極的に関与しているか。

・2000年問題を統括する役員、部署が明確化され、取り組み体制が確立されているか。

・2000年問題への対応の進捗状況について、役員に定期的に報告されているか。

(4)2000年問題の概要及びその対応策の内容を従業員が理解するよう役員は方策を講じているか。

・各部署ごとの2000年問題の担当者及び責任者が明確化しているか。

・従業員全体が対応策の内容を理解するためにどのような方策がとられているか。

2. 現状評価及び対応策の策定

(1)2000年問題への対応策が策定されているか。

対応策は、2000年問題が発生するまでの期間、対応に要する経費・人的資源等を考慮し、また、対応が間に合わなかった場合に自社が受ける損害を考慮して計画的に策定されている必要がある。

<具体的な修正等の方法を例示すれば、以下のとおり。>

・全面的なシステムの更新を行うのか、システムの修正に止めるのか。

・4桁化対応を行うのか、2桁のまま2000年を判断するロジックを組み込むのか。

・社内の人員で行うのか、外部に委託するのか。

(2)2000年問題により影響を受けるコンピュータ・システム等が特定されているか。また、それらのうち、優先して対応すべきものが特定されているか。

○2000年問題により影響を受けるコンピュータ・システム等の策定に当たって

①企業自らのコンピュータ・システム等のみならず、外部と接続しているシステムを含めて網羅されているか。

②地方及び海外拠点についても網羅されているか。

③制御システム、防犯設備、エレベータ等マイクロ・コンピュータ搭載機器についても網羅されているか。

○コンピュータ・システム等の把握の仕方の例を示すと以下のとおり。

①コンピュータ・システム等の仕様書、ソースコードによる確認。

②コンピュータ・システム等の製造元、保守業者等に対する問い合わせ。

○対応すべきコンピュータ・システム等の優先順位設定の基準の例は、以下のとおり。

- ・人命や身体などに危険が生じる可能性があるかどうか。
- ・外部とネットワークで接続されていることにより、他社に損害を及ぼす可能性があるかどうか。
- ・誤作動等が生じた場合の損失額がおおきいかどうか。
- ・修復までの時間の猶予がかぎられているかどうか。
- ・企業等の基幹システムであるかどうか。

(3) 2000年問題への対応策の各段階（影響を受けるシステムの特長、システムの修正、模擬テスト等）ごとに目標達成期日が明示的に設定されているか。

模擬テストに十分な時間をとれる期日設定となっているか、取引先等外部の接続するシステムを持つ企業等とのテストは可能かについて、留意する必要がある。

(4) 2000年問題への対応策に関し、外部の製造業者・販売業者等と積極的に連絡を取っているか。

(5) 顧客、主要取引先等における2000年問題への対応について把握し、対処しているか。

(6) 2000年問題を総括する部署は、2000年問題への対応策の各段階における進捗状況を的確に把握し、対処しているか。

(7) 対応策の実施に必要な予算、人的資源、機材は確保されているか。

### 3. コンピュータ・システム等の修正及び模擬テスト

(1) コンピュータ・システム等の修正等の進捗状況はどうか。また、進捗状況は、役員に定期的に報告されているか。

① コンピュータ・システム等の修正の終了予定日はいつか。（なお、修正等を進めるに当たっては、優先順位の高いもの、修正等に期間を要するもの等について考慮する必要がある。）

② 各システム等の修正の進捗率はどうか。当初計画に比べて遅れている場合、その理由は何か。

③ 2000年が閏年であることにも留意したコンピュータ計算プログラムに修正されているか。といった点に留意する必要がある。

(2) 修正したシステム等の模擬テストはどのように行われているか。

① 模擬テストの具体的日程はどうなっているか。

② 顧客・主要取引先等を含めたテストを行っているか。

るか。

③ テスト対象とならないコンピュータ・システム等がある場合、それらが2000年問題適格であることをどのように確保するのか。

④ できるだけ本番に近い環境下で、対象のコンピュータ・システム等に2000年1月1日以降のデータを与え、入力エラー（入力拒否）、システム停止、誤作動の有無の確認を的確に行っているか。

⑤ 当該システムを構成する機器、ソフトウェアの関連委託先等を動員し、企業等の職員立ち会いの下、総合的なテストを実施しているか。

### 4. 危機管理計画の策定

2000年1月1日以降にトラブルが発生する場合に備えてどのような危機管理計画が策定されているか。危機管理計画は、2000年1月1日又はそれ以前のコンピュータシステム等の誤作動等が想定される日までに対応が間に合わなかった場合、及び対応は完了したが、予想しなかったシステムの誤作動等が生ずる場合を想定して策定されていることが必要である。

### 5. 対応状況に関する情報の提供

インターネット等のメディアを利用し、企業等における2000年問題への対応状況についての情報が提供されているか。

① ホームページを設定するなどにより、企業における対応状況について、積極的な情報の提供をおこなっているか。また、その際、官邸ホームページとの相互接続等を図り、アクセス機会の向上を図っているか

② 上記以外の手段を通じた対応状況に関する情報の提供を行っているか。

### 6. コンピュータ・システム等の製造・販売業者等による情報の提供

コンピュータ・システム等の製造・販売業者等においては、自社の製品に関して、積極的に情報を開示しているか。

① 自社の製造した製品のうち、暦年管理機能を有する製品の仕様の確認を行っているか。

② エンドユーザーが確認できる場合には、個別に当該ユーザーにたいする告知及びパンフレットの配布等を行っているか。

③ エンドユーザーが確認できない場合における、インターネット等を利用した情報の提供（当該製品が輸出されている場合には、英語等による情報提供についても考慮する。）を行っているか。

## IFPI世界の上半期売上げ発表

IFPI（国際レコード産業連盟）は45ヶ国の「98年上半期売上げ」を発表しました。これらの国の数字は、世界のレコード売上げの95%をカバーします。全体の昨年同期比は、金額で5%増、数量で3%増です。詳細は以下のとおりです。

CD	9億8,400万枚	(7%増)
シングル	2億4,000万枚	(2%増)
カセット	2億5,900万枚	(17%減)
LP	700万枚	(5%減)

### <北米>

アメリカ 数量で8%以上増。金額で12%増。(97年の不調から脱し、上昇に転じた。)

カナダ 数量で4%増、金額で9%増。

<ヨーロッパ> 金額で1%増、数量で1%減。

イギリス 昨年の落ち込み比べ金額で3%増加。

ドイツ・フランス・オランダ 1~10%の減少。

<アジア> 日本以外は下降。

日本は、数量6%増、金額4%増。

他の地域は、経済危機の影響で、数量で30%、ドル建て金額で41%の減少。特に韓国とインドネシアは、数量でそれぞれ、54%と45%減少した。

<南米>全体では、数量で3%減、金額で1%減。

メキシコとアルゼンチンではCDの急増に伴い、顕著な増加。ブラジルは海賊版CDが増加し、数量で15%減。

<その他>

オーストラリアとニュージーランドは昨年の減少から、今年度は僅かに好転し、金額で2%増、南アフリカは26%のCD増加に導かれ全体で13%の増。

(IFPIプレス 98.10.06)

## RIAA、MP3プレイヤーを訴える。

RIAAは、デジタル時代のガイドラインを求めるため、ダイヤモンド・マルチメディア (DM) 社に対する画期的な訴訟をカリフォルニア地方裁判所に提起し

ました。訴訟の根拠は、同社製品のRio (MP3フォーマットのポータブル・プレイヤー) が家庭内録音法 (AHRA) に違反しているという理由からです。

AHRAは、デジタルオーディオ機器とディスクの製造業者や頒布者に対し、録音機器には2% (シングル・デッキ・レコーダーは最低1ドルから最高8ドル、ダブル・デッキは最高12ドル) の使用料が、又、メディアには3%がそれぞれ使用料として課されています。この使用料は、レコード会社、アーティスト、作詞家・作曲家、音楽出版社に分配されます。

RIAAは、「DM社は適切な使用料を支払っていない。また、デジタル機器には搭載が義務づけられているSCMS (2世代目以降のデジタル・コピー禁止システム) を搭載していないので、AHRAに違反している。我々は、技術を懸念しているのではない、インターネットを介する無数の違法録音の増加という利用方法を懸念しているのだ。このような機器は、デジタル配信の失敗、つまり、デジタル配信のインフラを壊滅することになるかも知れない。」と述べます。

これに対し、DM社は以下のように反論しています。「この製品は、AHRAに規定されるべき条件を満たしていない。RIAAの理論は正当ではなく、会員社の音楽頒布の独占を守るためのものである。製品を音楽から遠ざけるためには、Rioを市場から引き上げる以外方法が無い。Rioへの記録は単なる一時的な複製である。また、合法的なMP3ファイルも増えている。」

一方、著作権法に詳しい弁護士は、「MP3で好きな音楽のサンプルを作れるが、サンプリングは録音そのものである。」と述べています。

DM社にとって、この裁判結果は財政的にも重要な意味を持つでしょう。というのも、34%も急成長している同社の主力商品がRioであり、今回の会社の損害額を2,250万ドル (約30億円) と見積もっているからです。

(ビルボード98.10.24)

### 会議メモ (主なもの)

(10月1日~10月31日)

10・1	万引き防止検討委員会	10・14	デジタル問題対策会議 著作権部会・幹事会 見本盤回収プロジェクト 二次使用料委員会	10・23	制作者講習会 レンタル問題協議会
10・2	廃盤セールプロジェクト	10・16	労政部会	10・28	日本GD大賞マスコミWG
10・7	発売日検討委員会	10・20	調査統計部会	10・29	消費者専門部会 品質管理専門部会 洋楽宣伝専門部会
10・9	技術委員会	10・21	業務委員会 再販プロジェクト 宣伝部会	10・30	理事会 定款改正委員会
10・12	レコード制作基準倫理委員会	10・22	制作技術専門部会 ビデオ部会		
10・13	営業部会				



# HIT CHART DATA

1998年9月度(98年8月21日~98年9月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
<b>■邦楽・洋楽合同シングル BEST7</b>				
1.	wanna Be A Dreammaker	globe	98.09.02	AVT
2.	冷たい花	the brilliant green	98.08.26	SME
3.	抱いてHOLD ON ME!	モーニング娘。	98.09.09	EP
4.	運命のルーレット廻して	ZARD	98.09.14	BG
5.	たららん/パフィーのツアーメン	PUFFY	98.08.29	SME
6.	Grace of my heart	MAX	98.09.09	AVT
7.	CRASH	PENICILLIN	98.09.09	EW
<b>■洋楽シングル BEST7</b>				
1.	オギョディオラ	リーチェ	98.08.26	TO
2.	マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン~タイタニック・愛のテーマ~	セリーヌ・ディオナ	98.01.14	SME
3.	ティアーズ・イン・ヘヴン	エリック・クラプトン	97.10.25	WJ
4.	ポーリュシカ・ポーレ	オリガ	98.07.23	TO
5.	ダメダメ・ムーチョ	モロトフ	98.08.21	UV
6.	チェンジ・ザ・ワールド	エリック・クラプトン	96.07.25	WJ
7.	スタンド・バイ・ミー	フォー・ザ・コース	98.09.04	BMG
<b>■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7</b>				
1.	B'z The Best "Treasure"	B'z	98.09.20	BM
2.	MOTHER EARTH	大黒 摩季	98.09.09	BG
3.	COZY	山下 達郎	98.08.26	WJ
4.	New Adventure	MY LITTLE LOVER	98.09.02	TF
5.	the brilliant green	the brilliant green	98.09.19	SME
6.	藤子	tohko	98.08.26	PC
7.	La Festa	SMAP	98.08.26	V
<b>■クラシックアルバム BEST7</b>				
1.	ヨーヨー・マ・プレイズ・ピアソラ	ヨーヨー・マ	97.10.29	SME
2.	3大テノール・イン・パリ1998	パヴァロッチィ/ドミンゴ/カレーラス	98.08.29	PO
3.	チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 他	五嶋 みどり	98.08.21	SME
4.	タンゴ：ゼロ・アワー	アストル・ピアソラ	98.09.05	WJ
5.	ブルックナー：交響曲第4番「ロマンティック」	ギュンター・ヴァント指揮/ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団	98.08.26	WJ
7.	チェリビダッケ・エディション vol. 2	チェリビダッケ	98.08.26	TO
<b>■洋楽アルバム BEST7</b>				
1.	バック・トゥ・タイタニック	オリジナル・サウンドトラック	98.09.09	SME
2.	ミスエデュケーション	ローリン・ヒル	98.08.19	SME
3.	タイタニック	オリジナル・サウンドトラック	97.12.12	SME
4.	ダンス・パニック! Vol.1	サンランド 他	98.08.21	V
5.	SOUL'D OUT~ULTIMATE R&B COLLECTION	パフ・ダディ&フェイス・エウ アンス (フィーチャリング112) 他	98.08.21	BMG
6.	メカニカル・アニマルズ	マリリン・マンソン	98.09.15	V
7.	ダンスマニア 80'S	アイリーン・キャラ 他	98.08.26	TO

※AL：アルファミュージック/AO：アムラ・オータウン・レコード/AR：アンティノスレコード/AVT：エイベックス/BG：ビーグラムレコーズ/BM：ルームレコーズ/BME：バンダイ・ミュージックエンタテインメント/BMG：BMGジャパン/C：日本コロムビア/CA：カナリー企画/CR：日本クラウン/CT：カッティング・エッジ/EP：ゼティマ/EW：イーストウエスト・ジャパン/FH：ファンハウス/FL：フォーライフレコード/IE：ジャニーズ・エンタテインメント/JF：J-FRIENDS P./K：キングレコード/KT：キティエンタープライズ/ME：メルダック/MME：マーキュリー・ミュージックエンタテインメント/PC：ポニーキャニオン/PG：ポリグラム/PI：パイオニアLDC/PO：ポリドール/PS：ポリスター/QT：バルコ/RO：ロックイットレコード/SME：ソニー・ミュージックエンタテインメント/SN：SEHNA & CO./TA：ニュートーラス/TDK：TDKコア/TE：テイチク/TF：トイズ・ファクトリー/TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO：東芝EMI/UV：ユニバーサルピクチャー/V：ピクチャーエンタテインメント/VAP：バップ/VF：ヴェルファーレ/WJ：ワーナーミュージック・ジャパン/XR：ゼロ・コーポレーション/ZA：ツインレコーズ



**■アルバム (17作品)****【邦楽】****●3ミリオン**

pure soul/GLAY/98.7.29 (PO)

**●3ミリオン**

B'z The Best "Treasure"/B'z/98.09.20 (BM)

**●トリプル・プラチナ**TRIAD YEARS act I -THE VERY BEST OF THE  
YELLOW MONKEY-THE YELLOW MONKEY/  
96.12.07 (C)**●ミリオン**

B-album/KinKi Kids/98.08.12 (JE)

**●ダブル・プラチナ**

クムイウタ/Cocco/98.05.13 (V)

COZY/山下達郎/98.08.26 (WJ)

MOTHER EARTH/大黒摩季/98.09.09 (BG)

**●プラチナ**

ゆず一家/ゆず/98.07.23 (SN)

New Adventure/MY LITTLE LOVER/98.09.02  
(TF)the brilliant green/the brilliant green/  
98.09.19 (SME)**●ゴールド**

Growing Up/Hi-STANDARD/95.11.01 (TF)

籐子/tohko/98.08.26 (PC)

La Festa/SMAP/98.08.26 (V)

**【洋楽】****●プラチナ**ヨーヨー・マ・ブレイズ・ピアソラ/ヨーヨー・マ/  
97.10.29 (SME)ミスエデュケーション/ローリン・ヒル/98.08.19  
(SME)バック・トゥ・タイタニック/オリジナル・サウンドト  
ラック/98.09.09 (SME)**●ゴールド**

ザ・テイク・オフ/ソリッド・ベース/98.07.23 (V)

**■シングル (13作品)****【邦楽】****●トリプル・プラチナ**全部だきしめて/青の時代/KinKi Kids/98.07.29  
(JE)**●プラチナ**

きっとどこかで/TUBE/98.08.05 (SME)

冷たい花/the brilliant green/98.08.26 (SME)

たたらん/パフィーのツアーメン/PUFFY/  
98.08.29 (SME)wanna Be A Dreammaker/globe/98.09.02  
(AVT)抱いてHOLD ON ME! /モーニング娘。/  
98.09.09 (EP)

Grace of my heart/MAX/98.09.09 (AVT)

運命のルーレット廻して/ZARD/98.09.14 (BG)

**●ゴールド**

夏色/ゆず/98.06.03 (SN)

ENDLESS LOVE/D-SHADE/98.07.15 (PO)

Trust/浜崎あゆみ/98.08.05 (AVT)

チャンス/小松未歩/98.08.19 (AO)

CRASH/PENICILLIN/98.09.09 (EW)

## レコード生産実績

1998年9月度(98年9月1日～98年9月30日)

## 1. オーディオディスク

単位：数量：千枚・巻、金額：百万円

	9月実績						1998年(1月～9月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	12,176	33	101	7,937	16	110	123,342	37	99	76,464	18	97
	8センチ	82	0	79	52	0	126	891	0	68	509	0	74
D	邦洋計	12,258	33	101	7,989	16	110	124,233	37	98	76,973	18	97
	12センチ	17,001	45	102	29,774	60	103	146,941	44	110	245,926	59	110
D	邦洋計	8,096	22	89	11,975	24	94	63,449	19	92	92,233	22	92
	小計	25,097	67	98	41,749	84	100	210,390	63	104	338,159	81	105
D	邦洋計	29,177	78	102	37,711	76	104	270,282	81	105	322,390	77	107
	小計	8,178	22	89	12,027	24	94	64,340	19	92	92,742	22	92
D	邦洋計	37,354	100	99	49,738	100	101	334,622	100	102	415,132	100	103
	アログ	54	0	82	70	0	71	516	0	93	631	0	89
D	邦洋計	12	0	118	12	0	115	253	0	146	368	0	150
	小計	65	0	87	83	0	75	769	0	105	999	0	105
合計	邦洋計	29,230	78	102	37,782	76	104	270,798	81	105	323,022	78	107
	小計	8,189	22	89	12,040	24	94	64,593	19	92	93,110	22	92
合計	邦洋計	37,420	100	99	49,821	100	101	335,391	100	102	416,132	100	103

## 2. オーディオテープ

	9月実績						1998年(1月～9月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋計	1,683	98	82	1,463	98	86	15,741	99	97	12,611	99	93
	邦洋計	37	2	110	33	2	110	105	1	108	116	1	98
カートリッジ	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	1,683	98	82	1,463	98	86	15,741	99	97	12,611	99	93
	邦洋計	37	2	110	33	2	110	105	1	108	116	1	98
合計	邦洋計	1,720	100	83	1,496	100	87	15,846	100	97	12,727	100	93

## 3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	9月実績						1998年(1月～9月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	12,605	100	101	2,153	100	94	113,139	100	116	18,718	99	98
洋盤	0	0	0	0	0	0	39	0	39	138	1	49
合計	12,605	100	101	2,153	100	93	113,178	100	115	18,856	100	98

## 4. ビデオレコード

	9月実績						1998年(1月～9月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	922	35	122	2,294	23	116	7,810	32	98	20,442	24	93
テープ	1,684	65	97	7,617	77	104	16,920	68	107	63,268	76	109
合計	2,606	100	105	9,911	100	107	24,730	100	104	83,710	100	105

## 5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

	9月実績						1998年(1月～9月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	39,140	72	98	51,317	81	101	351,237	72	102	428,859	81	103
複合型CD	12,605	23	101	2,153	3	93	113,178	23	115	18,856	4	98
ビデオ	2,606	5	105	9,911	16	107	24,730	5	104	83,710	16	105
合計	54,351	100	99	63,381	100	101	489,144	100	105	531,426	100	103

備考 1. 本年実績は、会員会社「28社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

# 統計資料 (141)

## CDジャンル別新譜数の推移

本号は、1年間に発表されたコンパクトディスクの新譜数の推移を紹介します。

### 1.12センチCD

種 類	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	
邦 楽	演 歌	—	151	242	229	355	576	655	571	492	521	690	670	526	498
	ポップス歌謡曲	—	355	445	584	508	616	603	818	711	693	695	658	894	646
	ニューミュージック	—	684	929	1,170	1,143	1,323	1,629	1,932	2,094	2,088	2,538	2,252	1,951	2,072
小 計	450	1,187	1,616	1,983	2,003	2,515	2,887	3,321	3,297	3,302	3,923	3,580	3,371	3,216	
邦 楽	軽 音 楽	90	163	278	386	329	395	567	574	601	533	545	492	561	462
	民謡・純邦楽	14	32	67	54	78	128	302	172	103	231	140	131	185	255
	教育・教材・童謡・童話	14	73	161	213	179	345	479	380	422	295	216	274	285	261
	アニメーション	—	67	149	212	175	259	327	471	552	578	642	721	934	800
	クラシック	14	44	93	177	614	273	345	424	481	470	384	364	297	358
	カラオケ	351	73	127	166	92	107	172	243	133	96	50	38	29	6
	その他	41	39	41	53	80	195	208	157	138	239	218	324	227	284
邦版計	974 (—)	1,678 (172)	2,532 (151)	3,244 (128)	3,253 (100)	4,217 (130)	5,287 (125)	5,742 (109)	5,727 (100)	5,744 (100)	6,118 (107)	5,924 (97)	5,889 (99)	5,642 (96)	
洋 版	ロック・ディスコ	161	308	821	1,342	1,608	2,356	2,837	3,498	2,827	3,212	2,917	3,257	3,484	3,849
	ジャズ・フュージョン	146	337	745	1,090	1,245	1,288	1,300	1,759	1,510	1,524	1,372	1,074	1,187	1,292
	ポピュラーソング	143	162	257	470	337	553	689	747	775	825	741	871	692	850
	映画音楽	15	58	67	114	90	110	127	169	202	256	237	241	182	211
	その他	121	93	155	120	238	248	200	178	271	162	261	227	261	166
小 計	586	958	2,045	3,136	3,518	4,555	5,153	6,351	5,585	5,979	5,528	5,670	5,806	6,368	
洋 版	クラシック	537	1,910	2,141	2,392	2,281	3,366	3,761	4,352	3,803	3,973	3,879	4,128	5,056	3,906
	その他	0	0	1	0	1	17	2	6	20	1	2	0	5	9
洋版計	1,123 (—)	2,868 (255)	4,187 (146)	5,528 (132)	5,800 (105)	7,938 (137)	8,916 (112)	10,709 (120)	9,408 (88)	9,953 (106)	9,409 (95)	9,798 (104)	10,867 (111)	10,283 (95)	
合 計	3,097 (—)	4,546 (217)	6,719 (148)	8,772 (131)	9,053 (103)	12,155 (134)	14,203 (117)	16,451 (116)	15,135 (92)	15,697 (104)	15,527 (99)	15,722 (101)	16,756 (107)	15,925 (95)	

(注) 84年は歌謡曲の内訳及びアニメーションの統計はありません。( )内は対前年比。

### 2.8センチCD

種 類	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97
邦 楽	演 歌	136	241	420	699	495	467	651	459	515
	ポップス歌謡曲	522	543	520	616	583	490	487	728	633
	ニューミュージック	790	801	655	740	874	1,115	1,104	1,146	900
小 計	1,448	1,585	1,595	2,025	1,952	2,072	2,242	2,105	2,164	2,048
邦 楽	軽 音 楽	24	34	16	10	19	27	9	10	12
	民謡・純邦楽	2	5	104	141	24	34	23	59	31
	教育・教材・童謡・童話	34	75	50	12	12	8	23	25	16
	アニメーション	37	85	69	80	85	84	124	171	182
	クラシック	56	19	11	2	3	9	2	0	2
	カラオケ	102	16	10	10	3	0	0	0	0
	その他	15	74	6	49	30	5	37	3	6
邦版計	1,718 (—)	1,893 (110)	1,861 (98)	2,329 (125)	2,128 (91)	2,239 (105)	2,460 (110)	2,373 (96)	2,413 (102)	2,322 (96)
洋 版	ロック・ディスコ	520	695	518	443	288	196	188	132	65
	ジャズ・フュージョン	57	30	25	18	4	9	14	3	2
	ポピュラーソング	49	90	88	88	73	106	91	72	46
	映画音楽	6	13	12	4	8	4	2	2	1
	その他	9	4	11	5	1	2	6	9	2
小 計	641	832	654	558	374	317	301	218	126	81
洋 版	クラシック	109	55	34	46	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0
洋版計	750 (—)	887 (118)	688 (78)	604 (88)	374 (62)	317 (85)	301 (95)	219 (73)	127 (58)	109 (86)
合 計	2,468 (—)	2,780 (113)	2,549 (92)	2,933 (115)	2,502 (85)	2,556 (102)	2,761 (108)	2,592 (94)	2,540 (98)	2,431 (96)

備考 : ( )内は対前年比

# THE RECORD

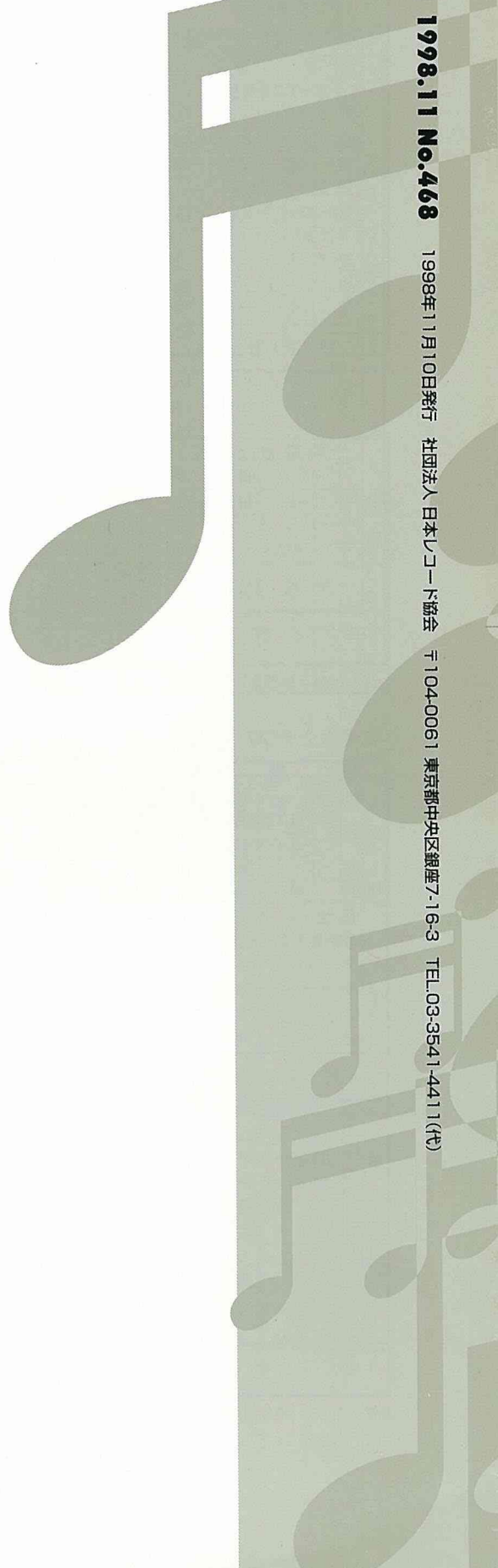
1998.11 No.468

1998年11月10日発行

社団法人 日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3

TEL.03-3541-4411(代)



**RIA** 1998年11月号  
Recording Industry Association of Japan

発行人 池口 頌夫

編集人 木村 三郎

発行日 1998年11月10日

発行 社団法人 日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F

TEL.03-3541-4411 (代)

FAX.03-3541-4460 (代)

URL:<http://www.japan-music.or.jp/>